

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和4年9月30日

児童発達支援(児童数)3人 回収数3人 割合100%、放課後等デイサービス(児童数)26人 回収数18人 割合69.23%

事業所名：ゆうわ・あいき

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	ここはどういうスペースかを職員全体で子どもたちに伝え、それが分かるようになってきている。	はい:18名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名 ご意見なし	スペース自体は適切と考えるが、クールダウンする場所が必要となるため、適宜場所の確保をします。
	2 職員の適切な配置	利用者数を常にチェックしながら、シフトを組み、適正にこれに対応する。	はい:12名 どちらともいえない:3名 いいえ:0名 わからない:3名 ご意見なし	急病や数日に渡り休む等理由の職員が複数出たときは全体で配置を変更します。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	各段、分かりやすい構造である。各部屋には名前を付けている。(ゆうの間等)	はい:16名 どちらともいえない:1名 いいえ:0名 わからない:1名 ご意見なし	古民家ゆえ、段差解消が困難ですが、敷台やスロープを設けています。現状、特別問題はあります。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	ご利用者の帰宅後には、館内の掃除・消毒を行い、清潔な空間を保っている。	はい:18名 どちらともいえない:0名 いいえ:0名 わからない:0名 ご意見なし	今後も心地良くご利用いただけるように、清潔な空間保持に努めます。また消毒等も継続して行い、感染予防に努めていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々のミーティングでPDCAを行っている。		評価に基づいて改善したつもりでも不十分な場合があります、再度PDCAサイクルを行っていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	次回受審予定。		定期的に第三者評価機構の外部評価を受審し、業務改善を図ります。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月第2木曜日午前を研修の日としており、研修参加者は事業所へ研修報告をすることでフィードバックしている。		虐待防止研修、職員のスキルアップ研修等様々な研修の機会が確保されています。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	全職員が共通理解のもとに計画を作成している。		全職員がより深いニーズの把握、課題の分析、サービス、計画へ反映させていく必要があります。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別と集団、それぞれの活動の意味、目的を明確にする。	はい:12名 どちらともいえない:1名 いいえ:1名 わからない:4名 ご意見:他所では支援計画を面談を元に作成されている	保護者からの情報、職員の把握している状況などを勘案しながらサービス計画を作成しています。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	全職員が共通理解のもとに計画を作成している。		全職員がより深いニーズの把握、課題の分析、サービス、計画へ反映させていく必要があります。
適切な支援の提供(続)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	マンネリ化を避け、それぞれに意をもつよう取り組んでいる。	はい:12名 どちらともいえない:1名 いいえ:1名 わからない:4名 ご意見:趣向を凝らした遊びやイベントが満載で楽しい	ガイドラインの総則をふまえ、基本活動を複数組み合わせています。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	事業所の目的を意識しての立案時に全職員で試行錯誤している。		職員間での意見の出し合い、季節、事業所の目的に沿うものとして立案します。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	マンネリ化を避け、それぞれに意をもつよう、	はい:12名 どちらともいえない:1名 いいえ:1名 わからない:4名 ご意見:趣向を凝らした遊びやイベントが満載で楽しい	ガイドラインの総則をふまえ、基本活動を複数組み合わせています。また、イベントには近隣の施設訪問を計画していきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	必要な活動は表現や目線を変える等工夫する。		必要性のあるもの、有用であるものをプログラムに組み込む。端的なものを安易に組み込まない。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	前日の支援終了後に、その日の反省と翌日の予定を確認している。		よりきめ細やかな支援内容の把握、役割分担等の確認が必要とされます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
き	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	共通理解、情報の共有、同一支援を徹底している。		打ち合わせ時間を確保し、共有内容を深める必要があります。話し合いの機会を増やしていきます。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	利用者記録が支援計画の指標の礎となることを職員が認識している。		利用者記録を記入し支援の検証、改善につなげています。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	職員間での相互理解に努める。		定期的なモニタリング、サービス計画の見直しの必要性の判断に努めています。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	極力右記2者が参加するようにする。		児童発達支援管理や管理者が参加するなど複数で参加したいです。
	2	<b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	契約時明確にする。		医療的ケアが必要な利用者は通所していないが、受け入れる場合は職員配置、主治医、協力医療機関と体制を整えます。
	3	<b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	契約時明確にする。		医療的ケアが必要な利用者は通所していないが、受け入れる場合は職員配置、主治医、協力医療機関と体制を整えます。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	先生方とのコミュニケーションをよくとる。		下校時間、行事予定等の提出を受けて送迎やサービス計画に反映しています。また、トラブルの発生時等の学校との連携に努めています。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	つながりある支援に努める。		以前利用していたサービスと連携をとって相互理解に努めています。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	機会を得る度、積極的にこれに参加する。		新型コロナウイルスの影響で行えていません。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	情報の収集に努める。	はい:4名 どちらともいえない:4名 いいえ:0名 わからない:10名 ご意見なし	新型コロナウイルスの影響にて回避しているが、開催されるイベントには積極的に参加します。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	小さな活動では、地域清掃、町内の清掃活動もある。	はい:4名 どちらともいえない:4名 いいえ:0名 わからない:10名 ご意見なし	良家庭園・伊つが・あいきの庭を利用し、共食イベントを開催しています。また、外部からの講師を招き、児童に対する支援等について講演会を行っています。現在は新型コロナウイルスの影響にて行えていません。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	保護者との会話のなかでもこれに触れていく。	はい:14名 どちらともいえない:2名 いいえ:0名 わからない:2名 ご意見なし	利用契約書を取り交わす時、文書を読み上げ説明しています。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	新型コロナウイルスの影響より電話、メールのやり取りが増やしている。	はい:11名 どちらともいえない:2名 いいえ:2名 わからない:3名 ご意見なし	アセスメント、モニタリング時以外でも直接状況等を口頭で伝えてもらったり、緊急の場合電話で連絡を取り合っています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容		
保護者への説明責・連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	参加者の増加のための声かけをする。	はい:4名 どちらともいえない:5名 いいえ:1名 わからない:8名 ご意見なし	保護者に対してペアレントトレーニングをしています。現在は新型コロナウイルスの影響で行っていません。	
	4	子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	情報の収集に努める。	はい:13名 どちらともいえない:4名 いいえ:1名 わからない:0名 ご意見:ノート等のやり取りがあると有難い	アセスメント、モニタリング時以外でも直接状況等を口頭で伝えてもらったり、緊急の場合電話で連絡を取り合っています。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	情報の収集に努める。	はい:8名 どちらともいえない:6名 いいえ:1名 わからない:3名 ご意見なし	要求があった場合には常時情報の提供できる体制は整えています。	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	情報の収集に努める。	はい:3名 どちらともいえない:2名 いいえ:6名 わからない:7名 ご意見なし	新型コロナウイルスの影響で行っていません。	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	情報の収集に努める。	はい:9名 どちらともいえない:6名 いいえ:0名 わからない:3名 ご意見なし	要求があった場合には常時情報の提供できる体制は整えています。	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	必要時は行政とも連携をとり、支援する。	はい:12名 どちらともいえない:1名 いいえ:2名 わからない:0名 ご意見:最近活動内容が届いていない	子どもに関してはイラストを使って(構造化)意思疎通を行っている。保護者には傾聴、具体例を示しながら情報を得るようにしています。	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	請求書等と同封にて送管している。	はい:13名 どちらともいえない:2名 いいえ:1名 わからない:2名 ご意見なし	定期的に会報を発行し、保護者に届けています。ラインを毎日更新する等ネットを活用した情報発信も行っています。	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	職員の個人情報の漏洩にも注意している。	はい:15名 どちらともいえない:2名 いいえ:0名 わからない:1名 ご意見:HP用の画像にすぐに配慮	個人情報は十分注意して管理者に知られないようにしている。個人情報の記載された書類は書庫への保管施錠を行っている。不要な書類はシュレッダーを稼働させています。	
	非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルと保護者との距離を詰める。	はい:5名 どちらともいえない:1名 いいえ:3名 わからない:9名 ご意見なし	各種マニュアルを作成し事業所内に設置しています。保護者からの関連する質問があれば丁寧に回答をしています(各マニュアルは掲示してある)。
		2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	活動にて避難経路図を作成。貼付している。	はい:2名 どちらともいえない:1名 いいえ:3名 わからない:12名 ご意見なし	活動の中で定期的に地震や火災などの避難訓練を行っています。その他職員向けに防犯訓練を実施しました。
3		虐待を防止するための職員研修の確保等の適切な対応	全職員がこれを必須とし、熟知、実行している。事業所内研修を実施している。		虐待防止研修を外部講師を招いて継続的に実施しています。	
4		やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束は絶対に行わないと職員間で共通理解している。		身体拘束は一切しておりません。生命に危険を及ぼす可能性がある場合はこれを阻止し、記録に残していきます。	
5		食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーにはアセスメントより十分注意しリスクを避ける。		アセスメントで保護者から子どもの食物アレルギーを確認しているが医師の指示書に基づいている訳ではありません。	
6		ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	都度、全体にも報告。全体として捉える。		ヒヤリハット事例は文書化し職員間でその都度共有しているが事例集の作成に至っていません。	